

「朝鮮通信使と岡山」

岡山県立博物館 特別展

今まで「瀬戸内発見伝」で数回にわたり紹介してきました朝鮮通信使は、江戸時代、徳川将軍の就任を祝う目的で、朝鮮国王から派遣された友好使節団です。2007（平成19）年に第一回の通信使から400年が経過しました。通信使一行は瀬戸内海を航行し、淀（大坂）から陸路江戸を目指しました。岡山地域では岡山藩が牛窓を通信使の接待地とし、初期には法華宗の古刹である本蓮寺がその宿所にあてられました。

文人が朝鮮通信使と交わした漢詩などから、朝鮮通信使と岡山藩、人々の交流についても紹介されます。今回展示される主な資料の中で瀬戸内市関係では、岡山大学附属図書館所蔵の「邑久郡牛窓村見取絵図」・「邑久郡牛窓町筋絵図」、本蓮寺に残された朝鮮通信使漢詩書軸6幅・青磁花瓶1対・青磁硯屏1点、また、若宮八幡宮（邑久町尻海）に奉納されている朝鮮通信使船図1面（市指定重要文化財）などが展示されます。



若宮八幡宮所蔵朝鮮通信使船図

大きさは縦85センチ、横147センチです。描かれた船のへさきの幟（のぼり）には、「上上官第一船」の文字が記されています。上上官とは通信使のうち、「正使」、「副使」、「従事官」に次ぐ職で、「堂上訳官」、すなわち通訳を職務とする者を指し、この船に乗る最上級者であったと思われる。朝鮮通信使の一行を描いた巻物、屏風などの例は見られませんが、絵馬は全国的に

も珍しい資料です。この絵馬は日朝交渉の長い歴史のひとつこまを示すものといえます。なお、正徳4（1714）年という奉納年に近い来日は、第8回目の正徳元年の徳川6代将軍家宣襲職祝賀時のことと、おそらくその際の情景を写したものを参考にして本図が制作されたものと考えられます。また、特別展の関連行事として、岡山県指定重要無形民俗文化財の「唐子踊」の公演が、2月11日（日）午前11時と午後1時30分から行われます。

▽展示期間 2月8日（金）～3月9日（日）
▽場所 岡山県立博物館
▽休館日 2月12日（火）・18日（月）・25日（月）・3月3日（月）
▽入館料 大人400円・高校生300円・小中学生80円
■問い合わせ先
岡山県立博物館
☎086-272-1149

ホップ・ステップ・ジャンプ

このコーナーは、生涯学習に生き生きと取り組む皆さんを紹介します。皆さんも仲間入りしませんか。



和気あいあいと楽しく調理

ベテラン主婦が知恵を出し合う「健康クッキング」

長船町公民館美和分館で月1回、気の合う料理好きな仲間が集まり、健康に気を使った料理教室をしています。

料理の先生はいませんが、皆さんの得意料理や料理本からレシピを作り、みんなで調理します。家庭菜園で作った旬の野菜などを利用し、メニュー作り。この日のメニューは、五日寿司、ダイコンと牛肉の韓国風煮物、お吸物。そして、調理中に余った材料は、もう一品と姿を変え、食卓のほります。このように、ベテ



みんな仲の良い「健康クッキング」の皆さん

ラン主婦が知恵を出し合い、楽しくクッキング。料理が完成すると、みんなで試食です。おいしい料理と楽しい会話で、この「健康クッキング」が皆さんの元気の源。気の合う仲間が、和気あいあいと、楽しい時間を過ごしていました。

- ★活動日時 第3水曜日 午前9時30分～午後零時30分
- ★活動場所 長船町公民館 美和分館
- ★会費 その都度材料費など
- ★連絡先 福池吉江さん ☎0869-26-2723

牛鬼まつりを盛り上げる「牛鬼太鼓」

牛窓町公民館から勇壮な太鼓の音が響いてきます。威勢のよい声を掛けながら、軽快なパチさばきで太鼓を打ち鳴らす牛鬼太鼓の皆さん。手首のスナップを利かせて、ドン・ドン・ドド



和やかな雰囲気さんの皆さん

ンと息の合った力強いリズムを刻みながら、楽しそうに太鼓の練習に励みます。平成13年、牛窓の歴史と風土を歌い込んだ「本牛窓音頭」が完成。その曲をみんなで楽しく唄って踊る牛鬼まつりが、同年から開催されるようになりました。牛鬼太鼓は、その祭りを盛り上げるために結成されたか？

牛鬼まつりのほか、旭川荘の慰問や夏祭りに出掛け、太鼓の演奏を行っています。「太鼓は、人の気持ちを受け止めてくれる。打ち手の姿勢・思い入れによって音が変わる」と、指導者の重光耕治さん（岡山市）は話します。「胸に響いてくる太鼓の音が好き。みんなと一緒に太鼓を叩いて、祭りを盛り上げたい」と木下涼子さん。初心者でもOKです。興味のある人、一緒に太鼓を演奏してみませんか？

- ★活動日時 第2・4土曜日 午後7時～9時30分
- ★活動場所 牛窓町公民館
- ★会費 なし
- ★連絡先 木下涼子さん ☎0869-34-5664